

ネジ生産個数モニタリングシステム

2019/07/15

愛知県立大学情報科学部情報科学科

小久保律樹

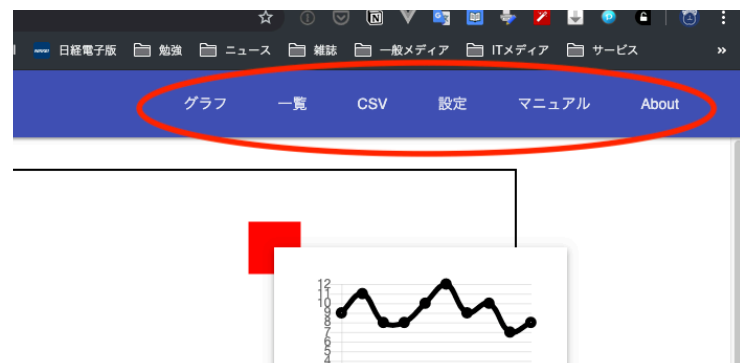
はじめに

この資料はコーエーテック様にて稼働するネジ生産個数モニタリングシステムの表示画面に関する簡単な説明資料です。どのような機能があるのかや画面の見方を説明します。

ページの移動・設定の呼び出し

ページの移動や設定の呼び出しは右上に表示されているリンクをクリックする事で行えます。

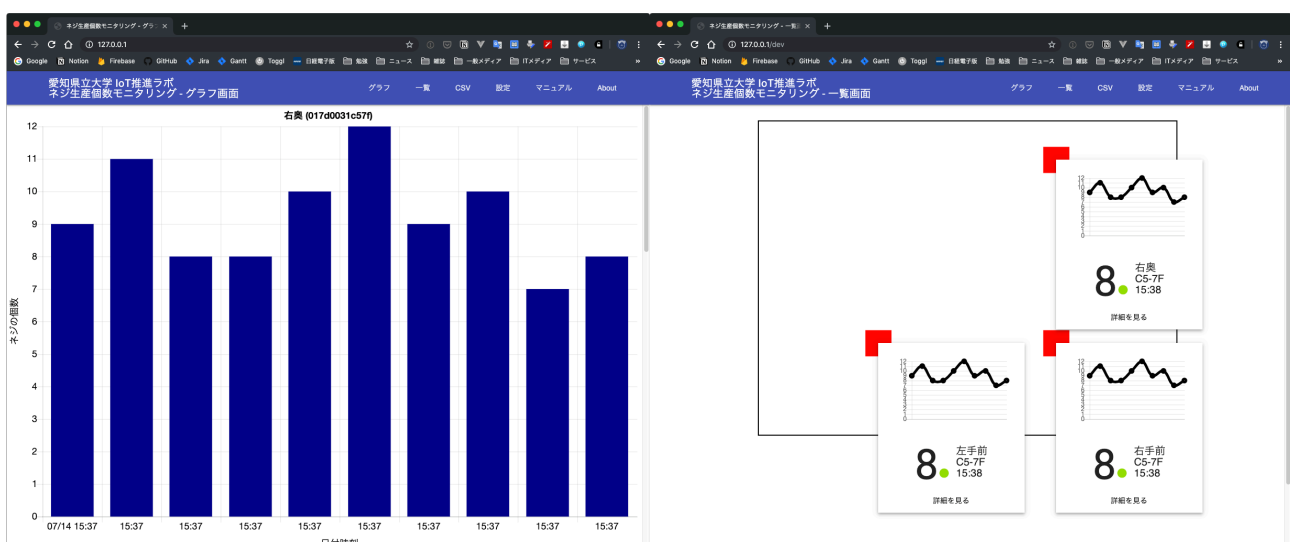
- ・ **グラフ**：ネジ生産個数を大きなグラフで1台ずつ表示します
- ・ **一覧**：ネジ生産個数を小さめのグラフで3台同時に表示します
- ・ **CSV**：記録したネジ生産個数のデータを、Excel等での解析で用いる事が出来るCSV形式で出力します
- ・ **設定**：各種設定の変更を行う画面を表示します
- ・ **マニュアル**：この資料を表示します



機能の紹介

(1)ネジ生産個数の表示

センサで読み取り無線で飛ばした「ネジ生産個数」の表示が行えます。表示の方法は2通り作成しました。いずれも横軸がデータの取得時間、縦軸がセンサで取得したネジの個数です。グラフは随時、最新のデータに自動的に更新されます。更新間隔は約5秒です。データ表示範囲の変更はできません。（グラフに表示されていなくてもデータの蓄積はされています。csv出力を行えばグラフに表示されていないデータも確認できます。）



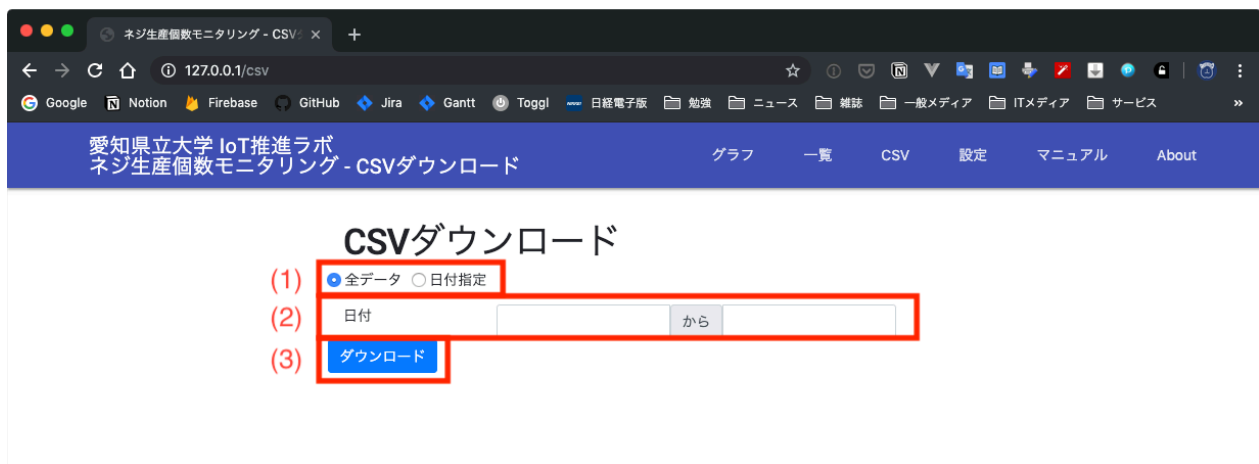
左側の表示（「グラフ」）では、機械1台ずつに関して大きなグラフで表示します。画面を縦にスクロールすると別の機械に関するグラフを表示します。

右側の表示（「一覧」）では、機械3台に関して同時に表示します。グラフの配置は入口側から見たセンサを取り付けた機械の配置をイメージしています。機械1台に対して1つのボックスがあり、各ボックスの上部ではネジの個数のグラフを、中間では最新のネジの個数とその取得時刻を表示しています。下部にある「詳細を見る」を押すと、大きなグラフ表示のページの対応するグラフに切り替えます。最新のネジの個数の横に表示されている「●」はある基準のネジの個数に近ければ緑に、遠ければ赤に近い色に表示されます。例えば、基準のネジの個数を10に設定している時には以下のように表示されます。基準のネジの個数は設定で変更可能です。基準のネジの個数を機械毎に変更することは出来ません。

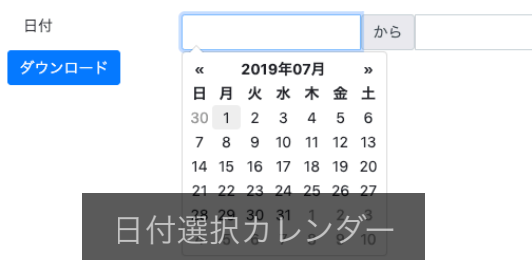
10 ● 左手前 C5-7F 15:38 7 ● 左手前 C5-7F 15:38 5 ● 左手前 C5-7F 15:38 2 ● 左手前 C5-7F 15:38 0 ● 左手前 C5-7F 15:38

(2) CSVのダウンロード

グラフで見ることでできるデータは蓄積されたデータのうちの最新のものだけです。グラフで見ることができなくても、実際にはセンサで得たデータは全てPC内部に保存してあります。蓄積した過去のデータも含む全てのデータをCSV形式で出力することが出来ます。CSVはExcel等でも読み込む事が出来ます。



まず(1)のボタンで全てのデータを取得するか、日付を指定して取得するかを選択できます。(2)では取得するデータの日付の範囲を指定します。(1)で「全データ」を選んだ場合は無視されます。最後に(3)でダウンロードボタンを押すとCSVファイルがダウンロードされます。日付の選択はマウスで行います。(2)の「から」の前と後ろのボックスをクリックするとカレンダーが表示されます。ここから指定したい日付を選択します。



このカレンダーでは年月が表示されている部分をクリックすると、他の月を素早く選択できます。



設定

あまり多くありませんが、設定ではいくつか設定の変更が行えます。設定を押すと右のような画面が表示されます。このテキストを打ち替えて「保存して閉じる」を押すと設定が反映されます。

モートMACアドレス：通信機を識別するためのコードです。通常時は表示されていないはずですが、万が一表示されていたら変更しないで下さい。

データ取得位置の名前：グラフのタイトルに表示されているようなデータ取得位置の名前を変更できます。

グラフのデータ表示個数（最大）：グラフ1つを大きく表示する画面において一度に表示する最大のデータの個数を変更できます。例えばここに「5」と入力した場合は最新5件のデータをグラフ表示します。

基準のネジ個数：グラフの一覧画面において●の色の基準となるネジの個数を変更できます。

